

令和7年度 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

入学式 式辞

桜が咲き誇るこの良き日に、作新学院大学並びに同大学院、また作新学院大学女子短期大学部に入学された新入生のみなさん、おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、心よりお祝い申し上げます。

また、ご来賓の皆様には、ご多忙の中を本学の入学式にご臨席を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、新入生のみなさんは、この清原のキャンパスから、大学生・短大生、大学院生として第一歩を踏み出すことになるわけです。みなさん一人一人が、学生としての自覚と責任をもって学び、行動していく上で、まず理解していただきたい点は、本学の「作新民」という建学の精神です。

「作新民」という言葉は、中国の古典の一つである『大学』という書物の中の「日に新たに、日に新にして、又日に新なり。新たなる民を作せ」に由来します。すなわち、「作新民」とは、自己を日々新しくする人間の育成を意味しています。自ら主体的に考え、知識を行動につなげ、心豊かな人間として自己を日々変革していくことによって、目の前に次々と生じる課題を的確に解決していく生き方とその育成をめざすという意味です。また、この建学の精神は、本学の「自学・自習」「自主・自律」という教育理念にも相通じる考え方です。

現在、不透明かつ不確実な時代といわれる中で、我が国のみならず世界的規模で大震災、自然災害、感染症、戦争、あるいは生成 AI に代表される技術革新など、今後も私たちの想像を超えた出来事が数多く発生してくることが予想されます。

そうした時代に対応するために、この学び舎で私が皆さんに希望することは、「批判的精

神」を持ってもらいたいということです。「批判」の「批」とは「事実を突き合わせる」ことであり、「判」は「見分け定める」という意味です。

つまり、「批判的精神」とは、物事や情報を受容しに受け入れるのではなく、多様な角度から事実を精査検討し、論理的かつ客観的に理解しようとする人間内部の心の働きと理解することができます。

いま私たちの周囲では、いわゆるフェイクニュースなどを含め、情報や知識が氾濫しています。人間だれもが生きる目的を考えつづけ、生きがいを見出そうとして、そのためにさまざまなツールを利用して知識や情報を獲得しようとしています。

そうした中で、みなさんにはぜひ、本当に自分にとって意味のある知識や情報とは何かを、これまで以上に意識して、しっかりと見極める力を養ってもらいたいと思います。

大学という場は、社会人や留学生などさまざまな人間が集い、語り合い、互いに切磋琢磨して研鑽を積んでいく場です。ぜひみなさんは、自ら進んで学内外におけるさまざまな場に参加し、その中で、自分のものの見方を構築しながら、自分がどのような存在であり、何に向かって進んでいくのかなど、じっくりと自己省察を行なってってください。

我々教職員は、学習者ファーストの観点に立って、みなさんの夢の実現のために、学修および生活における安全・安心な環境づくりを第一に考え、授業やさまざまな行事・活動において、充実したものをみなさんに提供し、全面的に支援・援助して参ります。

また、本学では、みなさんの夢を叶えるために、さまざまな免許や資格を取得できるプログラムが数多く用意されています。こうした免許・資格の取得やボランティア活動あるいはインターンシップといった社会活動、また学生が自主的に取り組む、強化部をはじめとする課外活動やサークル活動といったさまざまな活動にも積極的に挑戦して、多くの人間と交流しながら自分の可能性を広げてってください。

結びに、本学は、自然環境にも恵まれ、明るく自由な雰囲気の中で教育と研究が行なわれ、在学生も活発に活動しています。ぜひみなさんも、本学の「作新民」の建学の精神の下で、学問に勤しみ、実践知を蓄え、夢の実現に向けて果敢に挑戦する人間として成長していことを教職員一同心から大いに期待し、式辞と致します。

令和7年4月5日

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

学長 渡邊 弘